



誰もが輝く
まちづくりを
めざして

みな

みんなで

いっしょに

なかよく

2013.12.5
vol.34



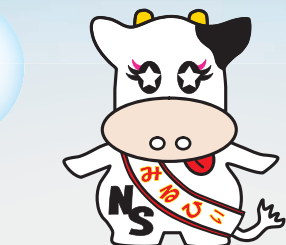
第3弾

高校生のボイスリレー 栃木県立黒磯南高校編



~若者の新しい視点から~

私たち高校生が描く
「男女が助け合う社会」について、
2ページに意見が
掲載されています。



もくじ

高校生のボイスリレー	2
湯けむりリレー	3
平成24年度 男女共同参画に関する年次報告	4, 5
高校生出前セミナー	6

黒磯南高生のアンケート

結果
抜粋

コンセプト

これからは、男女が協力し合う社会を実現するために、次代を担う青少年に啓発することが必要です。「みいな」を通して、男女の共同・協働について考えるきっかけになればと思います。今回は、2013年に新設された総合学科の生徒と、学校の事業の一つである海外研修に参加した生徒にインタビューをし、海外研修に参加した生徒には、日本と海外の男女共同参画についてお聞きました。

普通科・専門学科にできない「学び」

男子 女子

- Q1** 今勉強していることを将来どう活かしたいですか？
A 部活動で上下関係や年齢の離れた人への気配りを学んだので、将来はそれを活かしたい。
- Q2** 将来はどんな働き方をして、どんな人になりたいですか？
A 社会に貢献できる人になりたい。
A 誰とでも上手くコミュニケーションが取れて、気配りのできる人になりたいです。
- Q3** 今頑張っていること
A 部活動を頑張り、将来の夢を叶えるために資料集めをしています。
- Q4** 社会に出たら挑戦したいこと
A 将来は保育士になり、最終的には自分で保育園をつくりたい。

黒南で自分の未来が見えてきた！



授業を選択できるので、進路希望に合わせられます

総合学科

自分の興味・関心から進路を選ぶ



- Q5** 学校生活では、お互いに助け合っていますか？
A 友達が困っている時、悩んでいる時に話を聞いて一緒に解決している。
- Q6** 今の日本社会は、男女平等だと思いますか？
A 男性の方が少し優遇されていると思います。もっと平等になれると思う。
- Q7** 男女が助け合っていくために、必要なこと
A お互いを認めあう。
A 男女仲良くする。
A 相手のことを尊重し、思いやる。
- Q8** 理想のパートナー像・パートナーに求めること
A 優しく、一生愛してくれる人。



海外研修に参加した生徒

日本と海外の男女共同参画



- Q1** 海外研修に参加したきっかけ
A 今まで親元を離れたことがなかったので、自分でどれだけのことができるのかを試したかった。
- Q2** 海外研修に参加して、一番心に残ったこと・学んだこと
A 日本人は素直に家族同士で「ありがとう」と言えないことをアメリカ人は恥ずかしくがらずに言っていて、家族同士がとてども仲良かった。
- Q3** どんなことに日本との違いを感じましたか？
A お父さんが率先して家事などをしていたこと。
- Q4** 海外研修で学んだことを、どのように活かしたいですか？
A 「感謝の気持ち」を活かしたいです。日本だけに考えをとめず、世界にも目を向けるようにしたい。

いい経験をしました！

親にも感謝したい！



- Q5** 将来どんなことを学び、どんな仕事をしてみたいですか？
A 英語をもっと学び、国際関係の仕事に就きたい。

- Q6** 社会に出たら挑戦したいこと

- A** 2020年東京オリンピックの通訳に挑戦したいです。



ワーク・ライフ・バランスを実践するご夫婦 湯けむりりレー

女将さん 社長さん 出番ですよ～

接館編

コンセプト

今回は、面白く素敵なアイデアでいっぱいの社長と、いつも笑顔で前向きな女将リエ子さんの、お互いに支え合い、仕事と家庭を両立する愛にあふれた日常生活をご紹介します。



〈家族構成〉 山口 忠孝さん・リエ子さん
長男(5歳)、長女(2歳)

佐び寂びの心を大切に
おもてなしいたします

お互い好きなおとこ、尊敬しているところはどこですか？

発想がおもしろくて、一緒にいて楽しい！



いつも前向きで、自分を支え、そして夢を押ししてくれるとても大切なパートナーです。



仕事と家庭での役割

- 家庭での役割
二人とも、家事は何でもこなす。
- 仕事での役割

接客や設え等のソフト面を担当しています。



装飾などのハード面を担当しています。

隅々までおもてなしの心でいっぱい！

夫婦、家族で一番大切にしていること

- 二人でちょっと出かけたり、食事に行ったりと・・・二人の時間も大切にしています。

光の取り入れ方にもひと工夫

寝具にもこだわっています

お客様に満足を



職場での男女共同参画の特徴

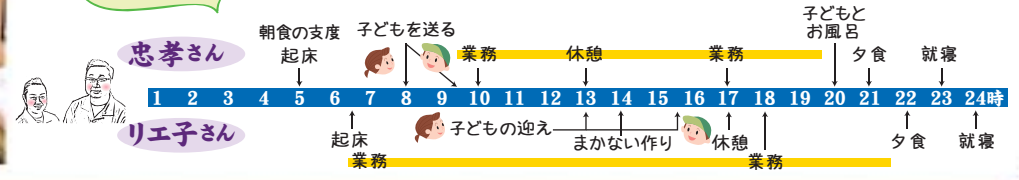
- 産休・育休制度があり、今後制度を利用する社員がいます！職場でも家庭でも男尊女尊。

ある日のタイムスケジュール



山口ご夫婦の夢

- いつか今の旅館を次の世代にゆずり、二人で大好きなハワイ島に移住したい！そして…旅館を経営したいです。



平成24年度 男女共同参画に関する年次報告

那須塩原市では、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、平成19年に「那須塩原市男女共同参画行動計画(第1次行動計画)」を策定し、様々な事業を展開してきました。

そして、現在は第1次行動計画の成果と課題を踏まえて、平成24年3月に「第2次那須塩原市男女共同参画行動計画」を策定し、5つの基本目標の下、施策・事業を推進しています。

第2次行動計画の初年度となる平成24年度の主な事業の実施状況を報告します。なお、全容は、12月18日(水)以降の市ホームページ「男女共同参画」のページでご覧いただくか、市役所市民協働推進課の窓口及び各支所でご覧いただけます。

第2次那須塩原市男女共同参画行動計画(平成24年度～平成28年度)

基本目標Ⅰ

男女共同参画社会実現のための意識改革の推進



性別に基づく固定的な役割分担意識による、社会制度や慣行等を見直し、男女が対等な立場で個性と能力を発揮できるよう啓発を行います。

【主な事業・取組】

男女共同参画広報紙「みいな」等による広報・啓発
担当課：市民協働推進課

- 24年度実績
4回(6、9、12、3月)に「みいな」を発行、各戸配布し、男女共同参画の意識の醸成、啓発を行った。
- 評価・課題等
男女共同参画を推進するために、今後は若者や男性の視点も広報紙に取り入れ、広い読者層を対象にした広報紙にする必要がある。

差別や偏見のない社会を目指し、人権意識や男女平等意識を根付かせていくために、発達段階に応じた性に関する正しい知識についての教育等を推進していきます。

【主な事業・取組】

思春期保健事業 担当課：健康増進課

- 24年度実績
中高生に対する助産師等による性教育の実施
13校 3,634人
- 評価・課題等
効果的な性教育を実施するためには、生徒の成長発達に即した内容にすることが重要なため、今後も各学校との連携を密にし、内容充実に努める。

基本目標Ⅱ

男女がお互いの性を尊重する人権意識の確立



基本目標Ⅲ

あらゆる分野への男女
共同参画の機会の確保



男女共同参画の視点を踏まえ、審議会や委員会等において、性別に偏りのない参画が図られるよう働きかけていくとともに、新しい時代の男女共同参画を担う人材の育成を進めます。

【主な事業・取組】

審議会等の男女比率の改善
担当課：市民協働推進課

- 24年度実績
直近（H25.9.1）の各種審議会・委員会等に占める
女性委員の割合
審議会等 23.9% 委員会等 12.7%

- 評価・課題等
女性の意見を市の政策や方針に反映させるために、引き続き、女性の人材の登用を進める。

男女が共にお互いの生き方を認め合いながら、協力して家事、育児、介護などに取り組み、仕事・家庭・地域活動等とのバランスの取れた豊かな生活を送ることができるよう、情報提供や意識啓発、支援を行います。

【主な事業・取組】

地域における子育て支援事業 担当課：子ども課

- 24年度実績

子育てサロン事業の実施

・子育て相談センター実施	10か所	19,504人
・市委託子育てサロン実施	8か所	6,142人
計	18か所	25,646人

- 評価・課題等

利用者が年々増加しており、市民のニーズへの対応として1月より子育てサロンを1か所新設した。子育て家庭への遊び場、交流の場の提供という子育て支援を多くの子育て家庭へ提供できた。今後もサロン増設の予定があり、より多くの場所での子育て支援が期待できる。

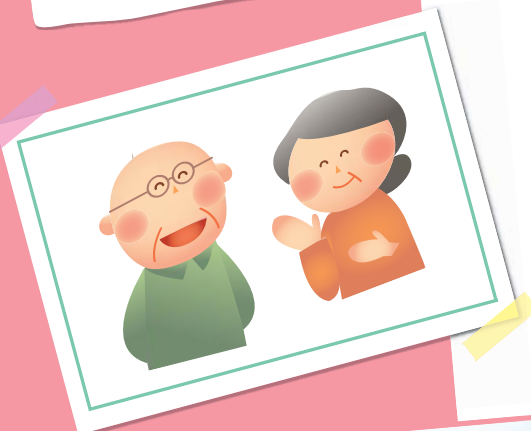
基本目標Ⅳ

家庭生活とその他の活動
との両立の支援



基本目標Ⅴ

生涯を通じた社会参画
のための環境の整備



女性も男性も心とからだの健康を保持し、生涯を通じて社会参画していけるよう支援するとともに、高齢者の介護予防及び生きがい対策の充実を図ります。

【主な事業・取組】

公共的施設のバリアフリー化の推進
担当課：建築指導課

- 24年度実績
栃木県ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、届出が行われた対象物件について審査している。
<ひとにやさしいまちづくり条例適合件数>
目標値（累積）101件、実績値（累積）101件
- 評価・課題等
今後も、条例に適合するよう継続的に指導するとともに、公共施設のバリアフリー化の推進、民間施設への普及啓発に努める。

「高校生の描く男女のキラリ社会」

～自分らしさを大切に～



～高校生が考える男女差とは～

県立那須拓陽高校3年生240名を対象に、男女共同参画セミナー「高校生が描く男女のキラリ社会」を開催しました。

県男女共同参画地域推進員が、デートDVの朗読劇を上演し、その後は各クラスに戻りDVや男女のちがいについて、またその解決方法を生徒同士で話し合いました。

3年生ということでは就職を控えている生徒もおり、就職や育児制度に対して、男子・女子が対等ではないと感じる生徒もいました。

また、女子のみのクラスでは、推進員がDV防止の啓発資料を読み上げたところ、全員が真剣に聞き入っていました。全体的に、3年生ならではの男女共同参画の視点で、ワークショップが進められ、何が大切なのかに気づいた様子でした。

<セミナーを受けた高校生の声>



- デートDVという言葉は初めて聞いたけど、とても深刻な問題だと思う。男女の差別は減ってきたけど、まだまだあるので、無くあそこがこれからの目標だと思う。
- 相手のことを考え支え合っていくのが今後の社会の理想だと思う。そのためにDVは起きてはいけないし、起こしてはいけない。

- クラスの友達と社会問題について話し合う機会がなかったので、とても良い経験になったと思う。
- 自分のことだけでなく、相手のことを尊重できる人になりたい。



- 愛はDVでは生まれません。愛は互いの思いやりで生まれるものである。
- 暴力で自分の感情を伝えるのではなく言葉で伝えるべきだと思う。



パパ&ママ 保育園お迎えリレー



編集後記

学校やお宿を取材して感じたことがいくつかあります。まず、相手の話をよく聞くこと。次に、聞いた話を自分なりに整理して、よく理解することが必要と思いました。また、意見を言いやすい雰囲気づくりも大切なことと感じました。